

【韓国】

11-12月の市場動向トピックス

- 2018年11月の訪日韓国人数は、前年同月比5.5%減の588,200人であった。
- 2018年12月の訪日韓国人数は、前年同月比0.4%増の681,600人であった。
- 6月以降に立て続けに発生した自然災害の影響で、関西地域・北海道地域を中心に訪日旅行を延期する動きが見られ訪日数に大きな影響が出たことから、11月の訪日者数は前年比でマイナスとなった。一方、12月は、強化しているプロモーション効果に加え、ふっこう割商品も好調に販売されるなど、マイナスイメージの影響が薄まりつつあることから、前年比でプラスの伸び率となった。

11-12月の主なプロモーション活動

- ★ 12月上旬、Instagramのフォロワー数が700万人を超え韓国のみならず世界中にファンを有するユーチューバーのサンダラ・パク氏とタイアップし、大阪・愛媛旅行映像を撮影した。第1弾(大阪編)は12月22日にYouTube上で公開。道頓堀やアメリカ村、法善寺横丁での串カツ体験に加え、地上300メートルの高さを誇るあべのハルカスのアトラクション「エッジ・ザ・ハルカス」での絶景体験など、インパクトのある映像で最新スポット情報を発信した。



(YouTube 公開動画「DARA TV CHANNEL IN OSAKA」)

- ★ 冬期の本格的な旅行シーズンを迎えるにあたり、北海道への誘客を図るため、10月中旬より、韓国の旅行会社、航空会社各社と共同プロモーションを集中実施し北海道商品の販売支援を行っている。11月には、ツアー2000と連携して、特設サイト上で北海道の旅行商品を販売。SNSも活用して北海道旅行商品やコーヒーチケット等が当たるイベントを実施することで北海道への旅行意欲の喚起を図った。



(特設サイトにおけるプロモーション)